

# すまいるたうん



発行元  
東京新聞  
南千住東口専売所  
TEL 5850-3699  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
TEL 090-2657-0300

## 昭和と共に歩む ジョイフル三ノ輪クツのマस्या



### 「オシルコ道路でしたね」

ジョイフル三ノ輪は、大正初期から昭和の初期までに大体の店舗がされ形成され、また都電の始発駅として栄え、映画館や寄席もあり、朝早くから夜遅くまで広範囲から買物に訪れるお客さんで賑わっておりまして。昭和初期まで商店街の道路は、整備されておらず、雨雪が降ると、高下駄を履かないと歩けない状態でした。

### 「下駄やツツカケを売ってました」

昭和元年から、ジョイフル三ノ輪（新開地↓三ノ輪銀座商店街）で、店を営むクツのマस्याの二代目である高梨和夫さん（昭和5年生れ）は、ジョイフル三ノ輪商店街の副理事長でもあります。

戦後になって、着物やもんぺのスタイルから洋服に移り、下駄から靴の販売を手がけるようになりました。

### 「入谷まで、配達をしてました」

昭和43年にイトーヨーカドー三ノ輪店がオープンして三ノ輪銀座商店街は打撃を受け、客足は減ってきましたが、昭和53年に4億円をかけてアーケードを完成させ、「チンチン電車に会える街」と

して再生しました。「アーケードができる前は上にヨシズを張ってました」



鉄鋼不況でアーケード着工まで時間がかかり、できあがる前は商店街の上にヨシズを張っていましたが、雨が降ると雫が垂れてきたそうです。

### 「儲けの低い、回転率の低いものはスーパーでは扱わない」

個人商店の良さは、品揃えの良さです。クツのマस्याでは、サイズが12cmの子供靴やサンダル、女性の靴は21.5cm〜25cm、男性も25〜28cmと幅広い品揃えです。高齢者用の転びにくく歩きやすい靴もあります。桐の下駄もありました。20坪の店内に所狭しと置いてある靴のメーカーもハルタやパンジー、ナイキと有名メーカーが数多く入っています。



何って居る時にお客さんが次々といらしてました。

入りやすく、懐かしい昭和の雰囲気が、満足と落ち着きをもたらしてくれそうです。

個人の商店は衰退して、どこの商店街でも見受けられますが、個人商店だからこそ、商品に責任を持って販売されるよさがあります。リウマチや、外反母趾で足の変形した方の靴のご相談も承ります。

スーパーでは、見つからない自分の足に合った靴がここではお求めになれると思います。

※4日（土）5日（日）は、ジョイフル三ノ輪商店街の縁日大会が午後3時からあります。金魚釣りや、色々な出店が出ます。

「すまいるたうんふれあい亭」も4日12時半〜15時、5日12時半〜18時に開催致します。同時に昔懐かしい写真の展示「想い出写真展」と、延命地藏の復興募金と、身替り地藏キーホルダー（限定50個）、杉山六郎さんの「コツ通り一口話」、お手玉の販売を致します。

どうぞお気軽にお立ち寄り下さいませ。

クツのマस्या  
ジョイフル三ノ輪（荒川一中より）  
南千住1-25-12  
電話（3891）5343  
水曜定休  
営業時間 10時〜19時

